

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要			
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・住民や観光客に対して、災害情報や避難情報等を迅速に伝達するため、防災行政無線等の適切な維持管理を行う。 【機器構成】 本庁舎（親局）→再送信局→屋外子局→戸別受信機（→市民） ↳消防本部（遠隔装置） 親局：1箇所、再送信局：5箇所、屋外子局：116箇所、戸別受信機：約2万3千台（うち約2万1千台を無償貸与中）、遠隔装置：1箇所 ・戸別受信機は希望世帯に無償貸与。戸別受信機が受信不良の場合は外部アンテナを設置し、設置費用は市が負担する。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
災害時における情報伝達手段として防災行政無線の必要性が高まり、旭地区では平成元年、海上地区では平成3年、飯岡地区では昭和58年、干潟地区では昭和61年にそれぞれ整備され、平成20・21年度にデジタル統合化し、それに伴い維持管理を行っている。	東日本大震災以降、戸別受信機の需要や受信不良対応件数が増加しており、住民の災害に対する危機意識の向上が見られる。	防災無線については、一部の地域からの屋外子局増設や議会からの更なる有効活用等の要望がある一方、うるさい又はよく聞こえない等の放送のあり方に対する提言がある。	

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円	
1.需用費	5,756	光熱水費、修繕料	
2.役務費	1,650	通信運搬費、手数料、保険料	
3.委託料	14,355	防災行政無線保守点検業務委託	
4.使用料及び賃借料	40	土地等借上料、通行料及び駐車場料	
5.その他	5,120	旅費、防災行政無線屋外子局増設工事	
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金			
2.都道府県支出金			
3.地方債			
4.その他	3,300	ふるさと応援基金繰入金、災害復興基金繰入金	

事業費	費目内訳	1. 需用費	千円	6,128	11,223	4,315	5,756	5,282
		2. 役務費	千円	2,166	1,715	1,648	1,650	903
		3. 委託料	千円	12,861	13,414	15,018	14,355	15,086
		4. 使用料及び賃借料	千円	41	40	41	40	44
		5. その他	千円	54	28,890	34	5,120	13,031
	財源	事業費計 (A)	千円	21,250	55,282	21,056	26,921	34,346
		1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円				3,300	11,294
	5. 一般財源	千円	21,250	55,282	21,056	23,621	23,052	

前年度増減理由	防災行政無線屋外子局増設工事の増
---------	------------------

従事職員数	常時	1	人	最大	2	人	×	3	日	=	延べ	6	人
-------	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---	----	---	---

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動)										
	・防災行政無線用バッテリー交換 ・屋外子局修繕 ・屋外子局増設(道の駅)			ア	戸別受信機外部アンテナ設置件数	件	90	41	64	47	66
				イ	防災行政無線設備のバッテリー交換箇所数	箇所	46	67	64	47	51
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象意図	市民、観光客、旭市内在勤者 (適切に維持管理することで)災害時において、災害情報を迅速に得ることができる。									
	対象意図			ア	戸別受信機総配布数 (戸別受信機を配布した数)	件	21,514	21,610	21,764	21,899	22,027
	対象意図			イ	不具合の対応件数 (屋外子局と戸別受信機の不具合(受信不良)解消件数)	件	134	142	206	155	220

①成果優先度評価結果			成果向上余地		
			かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい				④
	普通				
	小さい				

②コスト削減優先度評価結果			コスト比率		
			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	成果優先度	①			
		②			
		③			
		④⑤	(4)		
		⑥			
		⑦⑧			
		⑨			

年度	ア (左軸)	イ (右軸)
H29	85	140
H30	100	145
R1	135	200
R2	175	140
R3計画	205	240

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難															
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)															
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果 動向	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
			成果指標イ	↘	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	ア		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)									イ	63	96	154	135	128	
										△31	8	64	△51	65		
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()						
		R4.3	・防災行政無線(同報系)バッテリー交換 ・防災行政無線屋外子局増設(二、足川岡)													